特定非営利活動法人 奈良県防災士会 令和4年度 第4回 理事会 議事録

- 1. 日 時 令和4年1月14日(土) 午前10時00分から11時00分
- 2. 場 所 三宅町あざさ苑
- 3. 出席者数 理事総数18名のうち出席者数16名・表決委任者数 4名 監事総数3名のうち出席者数2名
- 4. 報告事項
 - 報第1号 支部活動支援金の申請について
 - 報第2号 支部長会議の報告について
 - 報第3号 その他報告事項について
- 5. 協議事項
 - 議第1号 令和5年度総会日程について
 - 議第2号 費用弁済の改定について
 - 議第3号 当面の日程について
- 6. その他
- 7. 議事の経過の概要及び議決の結果
 - (1) 開会

理事長末田政一氏が開会を宣言した。

司会者である八幡領事務統括から本会が定款第36条に基づき成立している旨の報告がなされた。

(2) 議長選出

定款第35条により理事長が議長を務める。

(3) 議事録署名人の選出及び書記記録人の指名

議長より議事録署名人選出に関する事項を諮ったところ、「議長一任」の声があったので、議事録署名人に山崎理事、石川理事を選出することに決定した。

なお、本理事会記録者に八幡領理事を指名した。

(4) 議事審議

議長が議事の審議開始を宣言した。

一. 報告事項

報第1号は、八幡領理事から以下のとおり報告された。 昨年12月に本部案内に従い支部支援金申請を行いました。

報第2号は、八幡領理事から以下のとおり報告された。

11月12日開催の部に末田理事長出席。12月10日開催の部に植村副理事長、 八幡領理事が出席した。

室崎本部理事長からは日本防災士会の組織近代化を進める。DX、インターネットを活用した管理をすべくシステムを構築しているところ。日本防災士会が他の団体から信頼がおかれる団体足りうるために改革を行う。防災士という資格を持っている方は24万人余りあるが、本部会員として登録されている方は9500人あまりにとどまっている。

大石本部副理事長より、会員管理システムについて説明がなされ、本部会報80号 に沿って今後、会員宛にパスワード等のハガキが送られる。会員は2月より本部の会 員管理システムより会員情報登録や年会費の納入を行うこととなる。

本部理事への推薦は必ずしも支部長である必要はない。本部理事としてその任を全うできる方を推薦してほしいとのこと。

資格取得者の会員加入を促進するため、若い世代は会費を頂かないといった策など を検討中とのこと。

補足事項として末田理事長から以下のとおり報告された。

本部の新しい会員管理システムにて、年会費を収めることとなる。3月までには完了してほしい。また、支部会費未納の方もおられます。こちらもよろしくお願いいたします。

補足事項として植村副理事長から以下のとおり報告された。

システムの変更には課題を抱えたままのこともある。奈良県の会員の中にも100 名程度はネットでの登録等が難しい方がいることもその一つ。できない方が出てくる だろうということは本部でも織り込み済みであるが、もう少し議論が必要。

今年は本部理事の改選の年になります。役員選任規定では関西支部連で3名選任されます。各府県の支部長含めて調整していく。

本部会費については、次年度の本部総会で22歳以下会員の会費は免除する方向性が提示される。若い方、学生を取り込もうということ。奈良県支部も会費見直し議論が必要。

昨年、地区防災計画アンケート調査について取りまとめているところ。皆さんと一緒に分析をしたいと考えている。防災士の関与について調べたいのでご協力願いたい。 支部活動の手引きについては、皆さん内容確認してください。 報第3号は、石川理事から以下のとおり報告された。

女性防災推進委員会の会議報告です。本部スキルアップ研修が1月、2月に、3月12日に東日本大震災シンポジウムが予定されている。昨年度の各種研修時に行ったアンケート結果がホームページに掲載されております。ご覧ください。女性防災推進委員の任期は3月まで。次年度の推進委員募集が予定されいる。推進員を増員する予定。

続いて、板垣理事から以下のとおり報告された。

防災プラットフォームでは、防災士会がどのような支援ができるかを議論中。専門 家集団である災害レスキューについても検討中。

以上、報第1号から報第3号議案について全員異議なしとし承認された。

二. 協議事項

議題1号 令和5年度総会日程について、末田理事長から以下のとおり提案説明がなされた。

これまでの慣例の通り5月の第4日曜である28日で開催する。

上記について、理事会で諮ったところ、質問意見なしであったため、表決を求めた ところ全員一致で令和5年度総会を5月28日で開催することを承認した。

議題2号 費用弁済の改定について、末田理事長から以下のとおり提案説明がなされた。

実技について、現行の3,000円を2,000円に改める。各種イベントへの参加者が多くなっている傾向がわかった。予算も限られているため。

イベント責任者の立替精算に関する質問があったが末田理事長からの説明に理解を得た。

表決を求めたところ全員一致で費用弁済の改定を4月1日から適用することを承認した。

議題3号 当面の日程について、八幡領理事から会議資料より説明があり修正、追加等が行われ可決承認がなされた。

三. その他報告、協議事項なし。

次回理事会の日程について協議の結果下記のとおり決定 次回理事会は、通常理事会とする。

日 時 令和5年3月11日(十) 午後

会 場 未定

以上をもって、議長から理事会の議事が終了した旨が述べられ、閉会が宣言された。

以上、この議事録が正確であることを証します。

令和 年 月 日

議 長

議事録署名人

議事録署名人